

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
谷川 博雲			
月2、木2			
添付ファイル			

科目の概要	いけばなは日本の代表的な伝統芸術の一つで、今や現代のあらゆる生活空間に生かされインテリアとしても欠かせないものです。 小原流いけばなの「花意匠」「盛花」形式により、伝統的ないけばなから日常的なアレンジまで自由で多彩な表現について指導します。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーションとスライド講義 小原流、成績評価、資格取得、持参するものについて説明します。 また、いけばなの歴史、小原流の歴史、小原流いけばなについてスライド講義をします。 受講者は今後学んでいくいけばなについての知識を得ます。 次回より花材、いけ方について講義と実習をします。 受講生は型を覚えながら、花の組み合わせや、枝、葉の見分け方、バランスの取り方を学び、花材の個性を生かしデザイン的に構成します。 生活に密着した行事の花（クリスマス、お正月、節句等）の実習も行います。</p> <p>第2回 花意匠① 「たてるかたち（1）」</p> <p>第3回 花意匠② 「たてるかたち（2）」</p> <p>第4回 花意匠③ 「かたむけるかたち（2）」</p> <p>第5回 花意匠④ 「かたむけるかたち（1）」</p> <p>第6回 花意匠⑤ 「ひらくかたち（正面性）」 かたちの展開として応用をします。</p> <p>第7回 花意匠⑥ 「たてるかたち」 反復練習をします。</p> <p>第8回 花意匠⑦ 「ならぶかたち（正面性）」 かたちの展開として応用をします。</p> <p>第9回 色彩盛花 色彩本位 「直立型」 「たてるかたち」の基本を踏まえて盛花を習得します。</p> <p>第10回 色彩盛花 色彩本位 「傾斜型」 「かたむけるかたち」の基本を踏まえて盛花を習得します。</p> <p>第11回 花意匠⑧ 「ひらくかたち（正面性）」 反復練習をします。</p> <p>第12回 花意匠⑨ 「ならぶかたち（正面性）」 反復練習をします。</p> <p>第13回 花意匠⑩ 「たてるかたち」 反復練習をします。</p> <p>第14回 色彩盛花 様式本位 「直立型」 伝統花を学びます。</p> <p>第15回 色彩盛花 色彩本位 「傾斜型」 反復練習をします。</p>
学習到達目標	いけばなをとおして自然を愛し自然を深くみつめる心を養います。 基礎からスタートし、プロの資格を取得できる2年後に向けて学んでいきます。
授業の方法	演習形式
成績評価の方法	レポート提出（70%）、ノート提出（15%）、授業中における意欲（15%）で評価します。
教科書・テキスト	小原流研究院編「いけばなの基本」学校用 プリント（いけばなの歴史）
参考書	工藤昌伸著「いけばなの道」 大井ミノブ著「いけばな辞典」

授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	花店の前を通るときは売られている花を見ておく。 自分で花を買っていけてみる。 自分の生活の場にいけばなを飾る。 機会があれば、いけばなの展覧会を鑑賞する。 自然を見る。
履修上の留意事項	特になし
オフィスアワー	授業時間の前後に教室で質問や相談を受け付けます。
担当教員への連絡方法	授業時間の前後に教室で直接、または教務課を通しての電話連絡
その他	〔免許状〕 初等科、本科、師範科一期を取得できます。 2年目も履修すれば師範科二期、准教授（プロ）を取得できます。